

令和7年12月定例月議会

令和7年12月16日

健康福祉常任委員会

資料

報告事項

案件名	所管局・課	ページ
長浜市病院事業の令和7年度決算見通しについて	市立長浜病院事務局 経営企画課 長浜市立湖北病院 事務局管理課	2

長浜市病院事業

所管委員会	健康福祉常任委員会
所管局・課	市立長浜病院事務局経営企画課 長浜市立湖北病院事務局管理課

長浜市病院事業の令和 7 年度決算見通しについて

1. 令和 7 年度決算見通し（詳細別紙資料）

【市立長浜病院】

単位：百万円

収支	改善計画	R7 見通し(A)	R6 決算(B)	A・B の差額
医業収支	▲1,571	▲1,620	▲1,896	276
医業外収支	▲86	25	24	1
経常収支	▲1,657	▲1,595	▲1,872	277

※令和 7 年度医業外収支には、国の緊急支援（病床数適正化支援事業 24 床減床分 98 百万円）を含むため、これを除く経常収支は▲1,693 百万円

【長浜市立湖北病院】

単位：百万円

収支	改善計画	R7 見通し(A)	R6 決算(B)	A・B の差額
医業収支	▲809	▲841	▲810	▲31
医業外収支	478	522	484	38
老健収支	▲33	▲44	▲42	▲2
経常収支	▲364	▲363	▲368	5

※令和 7 年度医業外収支には、国の緊急支援（病床数適正化支援事業 10 床減床分 41 百万円）を含むため、これを除く経常収支は▲404 百万円

2. 主な改善実績

【市立長浜病院】

- ・ 検査や日帰り手術、投薬等処置件数の増加により、外来患者数はほぼ横ばいであるものの外来収入は増加傾向
- ・ 病床運営コマンドセンターを軸とした入退院調整、病床稼働率の向上により新規入院患者が増加、療養病棟の休止があるものの一般病棟、回復期リハビリテーション病棟の入院患者、入院収入も増加傾向
- ・ アクションプランに示す各種施設基準の届出を完了し、算定を開始
- ・ 支出の抑制に向け、医薬品、診療材料、委託の契約方法を見直し

【長浜市立湖北病院】

- ・ 病床運営コマンドセンターを軸とした入退院調整により、病床稼働率の向上を図り、入院患者数は前年度と同水準を確保、入院収益は増加傾向
- ・ 積極的な紹介受入により、人工透析の件数は増加傾向
- ・ 支出の抑制に向け、契約更新にあたって委託業務の仕様を見直し

市立長浜病院・R7決算見通しについて

- R7. 9月末までの実績をふまえたR7年度決算は、経常損益▲15.95億円を見通しています。
【R6年度決算: ▲18.72億円 R6年度決算見通し(R6.12.16公表): ▲20.09億円】
- 医業収益は前年度比5.5%増加し、145億円を超え、前年度に引き続き過去最高収益となる見通しです。医業費用も前年度に比べ3.0%増加を見込むもの、増加額としては収益が費用を上回る予測です。病院職員が一丸となって取り組んでいる「経営改善実行計画」(R7.7月策定、以下「計画」)の推進により、医業収支は前年度比約2.8億円(14.8%)改善する見通しです。
- 現金及び内部留保資金の枯渇回避に向け、計画の確実な実行と進捗管理に加え、計画の前倒しも進めています。また、更なる収支改善に向け、新たなアクションプランの調査・研究にも積極的に取り組んでいるところです。

(単位: 百万円)

長浜病院	R7収支計画	R7決算見通し(A)	R6決算(B)	差引(A-B)	増減率(A/B)	増減理由
医業収益 a	13,810	14,526	13,773	753	105.5%	
うち入院収益	8,607	9,151	8,650	501	105.8%	4-9月前年比6.8%増 (うち一般病棟8.5%増, 回リハ病棟17.3%増)
うち外来収益	4,856	5,002	4,776	226	104.7%	4-9月前年比5.1%増
医業費用 b	15,381	16,146	15,669	477	103.0%	
給与費	8,067	8,615	8,238	377	104.6%	R7人事院勧告の実施を想定 (+465百万円)
材料費	4,559	4,667	4,544	123	102.7%	
うち医薬品費	2,459	2,452	2,451	1	100.0%	
うち診療材料費	1,952	2,069	1,946	123	106.3%	検査・手術件数増, 価格上昇等による増
経費	1,877	1,985	1,887	98	105.2%	委託料+63百万円(医事+32百万円, 検査+20百万円)、 光熱水費+23百万円
減価償却費	842	842	964	▲122	87.3%	電子カルテ減価償却終了
医業損益c(a-b)	▲1,571	▲1,620	▲1,896	276	85.4%	
医業外収益 d	808	959	920	39	104.2%	
うち補助金	30	147	28	119	525.0%	国緊急支援(病床数適正化事業24床減分)+98百万円
うち一般会計繰入	530	562	651	▲89	86.3%	病床削減、本館建物利息支払減ほか 物価高騰対応重点支援(市)+10百万円
医業外費用 e	894	934	896	38	104.2%	
経常損益c+d-e	▲1,657	▲1,595	▲1,872	277	85.2%	

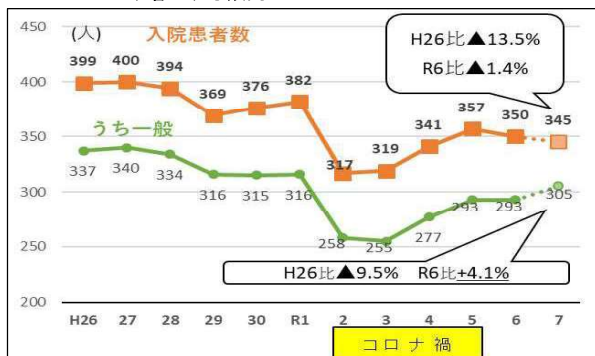
市立長浜病院・経営状況①

1日あたり患者数

- ・外来患者数は前年度とほぼ同じ傾向

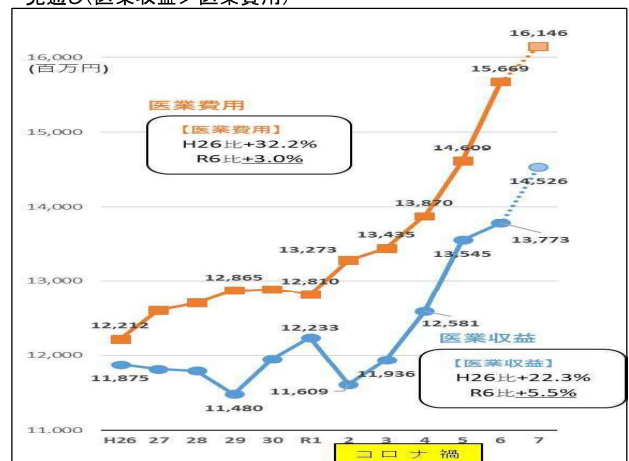


- ・入院患者数は、新規の入院患者数の増加や適切なベッドコントロールにより増加する傾向

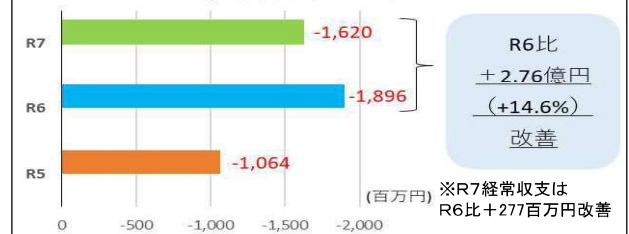


医業収支 (損益)

医業費用が医業収益を上回る状況は続いているものの、R7は計画の実行により、収益と支出の差は縮まり収支改善に向かう見通し(医業収益>医業費用)



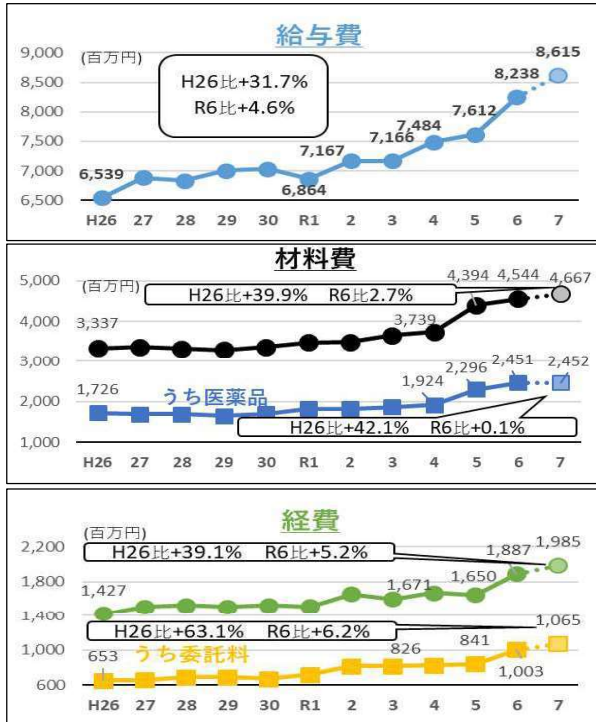
医業収支 (R5~R7)



市立長浜病院・経営状況②

主な費用

医薬品費に関しては、計画の推進により前年度とほぼ同様に支出を抑制できている一方で、物価高騰や賃金上昇の外的要因により各費用の増加は今後も続く見通し

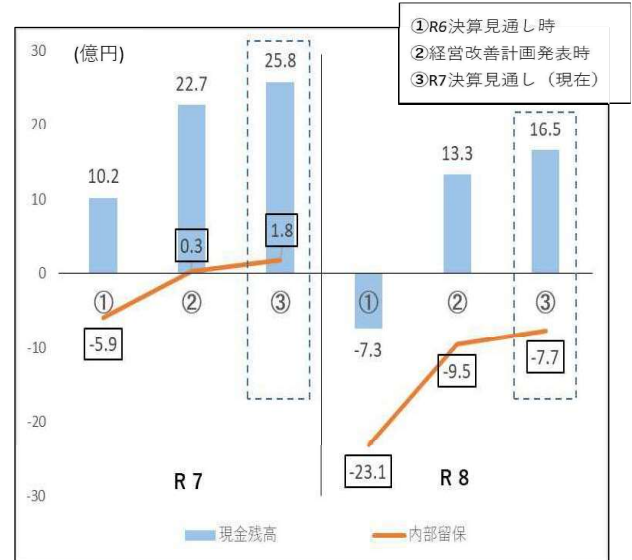


キャッシュ推移

計画の推進により、R7年度の決算では一定の収支改善が予測され、R8年度における資金不足も若干の解消を見通すことができる。しかしながら内部留保資金の回復には至らず、枯渇に至る状況は続くため、資金獲得に向けたさまざまな取組が必要。

●現金残高および内部留保資金の改善

見込状況(R7・R8) * 各年3/31時点想定



■条件

- ・①R6決算見通し時は医薬収支▲20億円が継続されると仮定した場合
- ・R8③は経営改善実行計画[収支計画]▲12.4億円で試算(R8②と同じ)

長浜市立湖北病院・R7決算見込みについて

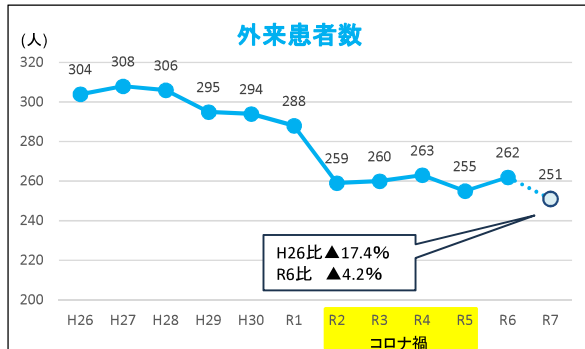
- R7. 9月末までの実績をふまえたR7年度決算は、経常損益▲3.6億円を見通しています。
- 医薬収益は前年度比3.8%増加し、前年度と同様に20億円を超える見込みです。医薬費用も前年度に比べ3.8%増加を見込んでおり、収支ともに前年度比で同様の上昇比率となる見込みです。
- 現金及び内部留保資金の枯渇回避に向け、計画の確実な実行と進捗管理に加え、計画の前倒しも進めています。また、更なる収支改善に向けて、新たなアクションプランの調査・研究にも積極的に取り組んでいるところです。(単位: 百万円)

湖北病院	R7収支計画	R7決算見通し(A)	R6決算(B)	差引(A-B)	増減率(A/B)	増減理由
医薬収益 a	2,093	2,098	2,022	76	103.8%	
うち入院収益	1,150	1,223	1,140	83	107.3%	入院患者数増(146人増加)(上半期対比) ※入院単価R6: 29,707円→R7: 30,915円
うち外来収益	865	794	802	▲7	99.0%	外来患者数減(1,691人減少)(上半期対比) ※外来単価R6: 12,512円→R7: 13,091円
医薬費用 b	2,902	2,939	2,832	107	103.8%	
給与費	1,878	1,799	1,784	15	100.8%	※R7人勤 92,303千円
材料費	342	391	347	44	112.7%	
うち医薬品費	156	188	156	32	120.5%	血液製剤の薬価改定+12,000千円、 高額薬剤の使用増加+10,000千円
うち診療材料費	155	172	161	11	106.8%	透析件数の増加に伴う材料の増加+12,000千円
経費	459	531	491	40	108.1%	修繕費(CT管球、MR修繕等)+29,904千円、保険料(医療 機器修理費用補償サービス等)+17,622千円
減価償却費	212	207	202	5	102.5%	
医薬損益c(a-b)	▲809	▲841	▲810	▲31	103.8%	
医薬外収益 d	727	812	754	58	107.7%	国緊急支援(病床数適正化事業10床減分)+41百万円
うち一般会計繰入	564	574	591	▲17	97.1%	不採算地区中核の減少
医薬外費用 e	249	290	270	20	107.4%	控除対象外消費税の増加
介護老人保健施設収益 f	485	468	458	10	102.2%	
介護老人保健施設費用 g	518	512	500	12	102.4%	
介護老人保健施設収支 f-g	▲33	▲44	▲42	▲2	104.8%	
経常損益 c+d-e+f-g	▲364	▲363	▲368	5	98.6%	

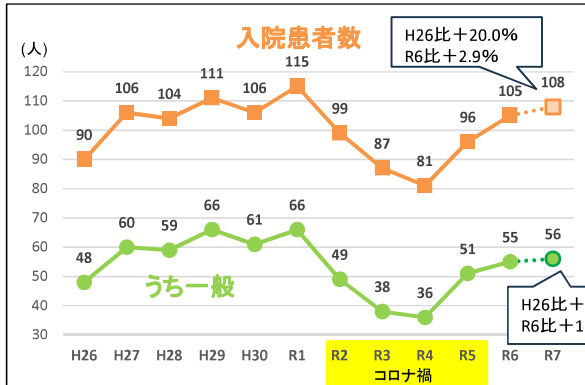
長浜市立湖北病院・経営状況①

1日あたり患者数

・外来患者数は前年度比で減少傾向

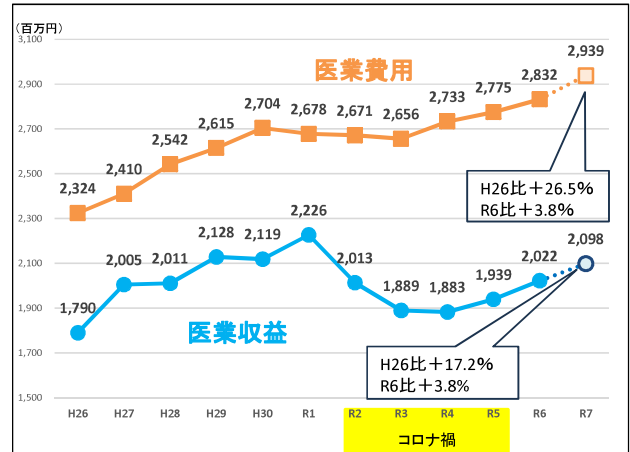


・入院患者はコロナ禍以前の数値に回復傾向

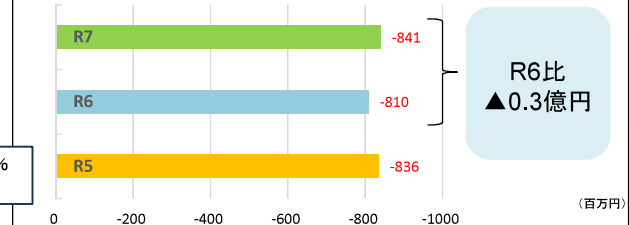


医業収支（損益）

・医業収益がコロナ禍以前の数値まで回復傾向にあるが、医業費用も増加傾向



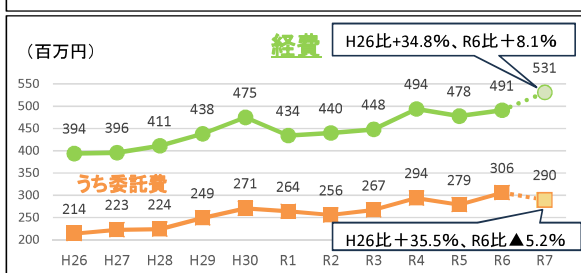
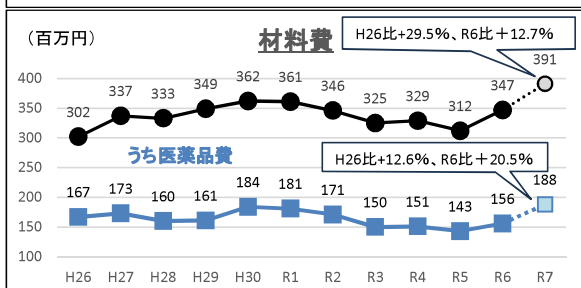
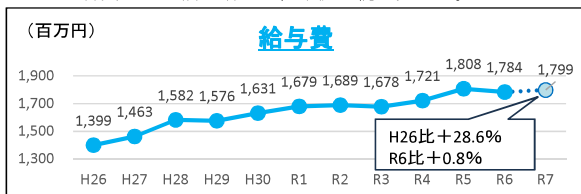
医業収支(R5～R7)



長浜市立湖北病院・経営状況②

主な費用

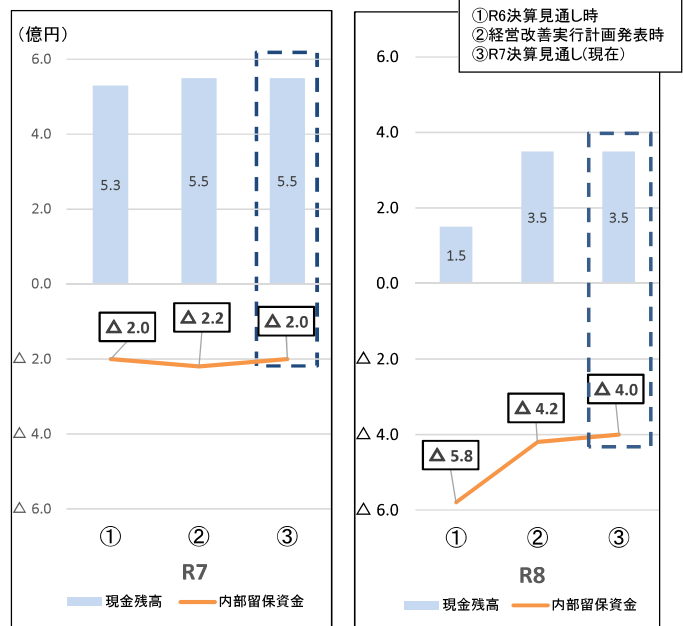
給与費は人勤による増額を考慮した上でも、前年度比0.8%増加に抑制できている一方で、物価高騰や賃金上昇の外的要因により各費用が大幅に増加し、今後も続く見通し。



キャッシュ推移

計画の推進により、R7年度の決算では若干の収支改善が予測されるが、内部留保資金の回復には至らず、資金獲得に向けたさまざまな取組が必要。

●現金残高および内部留保資金の改善見込（R7～R8）
*各年3/31時点



■条件

①R6決算見通し時は医業収支▲4億円が継続されると仮定した場合。